



東城市街地の活性化へ

えびす「蔵」にそば屋オープン

No.6

本年7月、東城まちなか交流施設えびす「蔵」に、そば屋「みじゅくもん」がオープンしました。

第2・第4土曜日に営業しており、地元産のそば粉を使ったそば打ちの実演や、おいしいそばが堪能できます。

みじゅくもん店主の福岡房江さんは「地域の味に触れてもらい、さまざまな人との交流の場となることで、まちなかににぎわいが生まれるとうれしい」と話していました。

東城まちなか交流施設えびす「蔵」は、市民交流の場や、にぎわい創出を目的とした各種イベントのほか、臨時営業などで利用することができます。



▲にぎわう店内

磯の生きものに触れる

比和自然科学博物館公開講座・8/17

No.8

第6回公開講座「宮島水族館から磯の生きものたちがやってくる！」が比和自然科学博物館で開催されました。講座は午前と午後の1日2回行われ、合わせて169人が参加しました。

宮島水族館スタッフによる干潟や磯の生きものについての紹介や説明が行われました。また、アラムシロという巻貝の入った水槽にアサリの剥き身を投入して、捕食の様子を観察することができ、それを見た参加者たちは「すごい！」と驚きの声をあげていました。

講座の後は、ヒトデやウニ、カブトガニなどの磯の生きものとの触れ合いの時間が設けられました。参加した子どもたちは珍しい生きものに感動した様子で、熱心に触ったり持ち上げたりしていました。



▲興味津々の子どもたち

大きいのがあったよ

たかの体験夏の収穫祭・8/10

No.5

上高自治振興区が主催する「たかの体験夏の収穫祭」が高野町新市の たかの体験農場で開催されました。

県内各地から約60人が参加し、とうもろこし(ゆめのコーン)の収穫を体験しました。

参加者は、スタッフからおいしいとうもろこしの見分け方を教わり、真剣に選んで収穫していました。その場で、生のまま食べた子どもたちからは「あーい」と歓声が上がっていました。

6月の植え付けから収穫までを担当したスタッフは、「収穫の楽しさを感じてもらえて良かった。これからも高野を体験できる企画を考えていきたい」と話していました。



▲とうもろこしを収穫する子どもたち

楽しく学ぼう交通安全

交通安全講習会・7/22

No.7

交通安全講習会が、総領自治振興センターで行われ、60人が参加しました。

この講習会は、安全運転について改めて考え、さまざまな体験を通じて安全意識を高めていくことを目的で開催されました。

当日は、自動ブレーキなど先進安全装置を搭載したセーフティ・サポートカーの乗車体験や、交通安全体験車「セーフティプラザ ヒコア」による視覚機能診断、運転・歩行能力診断、交通標識クイズなどがありました。

交通標識クイズに挑戦した小学生は「クイズ形式で交通標識の勉強ができたので、覚えやすくて楽しかった」と喜んでいた。



▲交通安全体験車「ヒコア」

リズムに乗って

ウクレレ教室・7/22

No.2

ウクレレ教室が、口和保健福祉センターで行われました。

講師に口和町永田の福岡史教士を迎え、初めてウクレレに触る方など初心者を対象に開催されました。

今回の教室は、簡単なコードを使い、「線路は続くよどこまでも」「きよしこの夜」「この木なんの木」といった誰もが知っている曲を演奏しました。

演奏を楽しんだ参加者は「指の動きが難しいが、弾けると楽しい」「南国ムードを感じる音色が心地良い」「次回は歌いながら演奏できるように練習をがんばる」「最終目標は口和芸能祭！」などと話していました。



▲演奏を楽しむ参加者

日本の食を学ぶ

とうもろこし収穫体験・8/9

No.4

西城小学校と美古登小学校の合同とうもろこし収穫体験が、西城町油木で行われ、3年生19人が参加しました。この活動は、種まきや収穫体験を通して、栽培の手順や食生活と健康の関連性について学ぶことを目的としています。

児童は、前油木営農組合の高原芳典組合長から害獣対策、収穫方法などについて説明を受けた後、自分が植えたとうもろこしを探して収穫していました。収穫後児童は「とうもろこしは何種類あるの」「どうして甘くなるの」など、たくさん質問していました。

その後集会所に移動し、地元の方が用意した茹でたとうもろこしやおにぎり、漬物を食べながら、日本の食料自給率や食べ物の大切さについて学習しました。



▲とうもろこしを収穫する様子

奉仕活動で心が育つ

東城高校生徒によるボランティア清掃・7/23

No.1

東城高校の生徒によるボランティア清掃が、東城駅と町内の道路沿いで行われました。

この取り組みは、平成16年からボランティア活動の一環として毎年夏と秋に行われており、今回は参加を希望した生徒62人が、JR職員の立ち会いのもと、教師と一緒に東城駅舎の窓拭きやクモの巣払い、道路沿いのゴミ拾いなどの清掃活動に取り組みました。

参加した生徒は「地域の方に学校を支えてもらっているの、恩返しができてうれしい。自分の町がきれいになるのは気持ちが良い。今後はきれいに使うよう意識したい」などと話していました。



▲駅舎の清掃をする東城高校の生徒

森林の役割を学習

森と水の学習会・7/25

No.3

森と水の学習会が比和町古頃のアサヒの森(アサヒグループホールディングス株の社有林)で、比和小学校5、6年生の児童を対象に開催されました。

アサヒグループでは、積極的な森林の手入れと環境に配慮した森林管理をしており、このような学習会をはじめ、さまざまなイベント開催を通じて、森林を身近に感じる取り組みを行っています。

当日は、アサヒの森環境保全事務所や広島北部森林管理署などのスタッフによる紙芝居や、水の浄化実験、木工教室などがあり、参加した子どもたちは森林のさまざまな役割や環境保全の大切さについて学びました。



▲集合写真